



第 391 号 平成 23 年 2 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

大 文 字 駅 伝

会 長 奥 村 正 治

2月6日(日)本年はここ近年になく、寒い一日かと思わせる日が続きましたが当日は少し暖かい日の日となりました。1校10人(男子5人 女子5人)の6年生の児童が大文字をみながら1本のタスキを受けわたし、タイムを競った。本年度で25回目となり、1/4世紀行なった事になる。京都では、高校駅伝・女子駅伝・車イス駅伝と大きな大会が毎年の事であるが、この12月、1月、2月で行なわれている。この大文字駅伝も、子供の駅伝だからと思われがちな面もあるかも知れないが、関係者、関係者以外をとわず、大勢の方々の御協力により、成り立っている。距離や、コースはちがうけれど、他の駅伝大会とまったく同じである。一時期ではあるが、交通をストップさせランナー優先の大会である。もちろん、白バイの先導もあり、ルール等々もまったく同じである。今回も、北区衣笠小学校前をスタートとし、北山通り、宝ヶ池通り、国際会議場前を折り返しとし、北山通り植物園北の北山大橋より加茂川沿いに入り、鴨川丸太町橋より丸太町を東に向い、平安神宮前の岡崎公園野球場をゴールとした、計16km495mの10区間である。

25年の間には、色々のエピソードが思い出されます。第1回か? 第2回?は忘れましたが、1回だけ欠席だったと思いますが毎回到近いぐらい医療班として参加させていただいております。

第15回にはじめて優勝旗が桂川を東に超え、やっと大文字駅伝が、京都市の色々の小学校が、上位をしめる様になった。それまでは、我小学校(校医の)の西京区の学校がずっと旗を持って帰った事になる。

第8回大会平安建都1200年の大会では京都市と姉妹都市になっている五都市の外国からも参加があったが、各国の言葉を書いた紙が配られ、「もうおっこはした?」「これから走るの」等々の言語があったのを覚えています。又、けがをしても治療はするな!! まず親に連絡をしてからの治療になる。という様な紙が廻っていたのを懐かしく思います。それぞれの医療事情の違いを思った大会でした。

第10回大会では、阪神・淡路大震災の年でもあり、神戸の2校の子供達も参加しました。

第1回大会より、出場選手の事前検診として1次検診にて、予診表の評価、心電図検診、聴診等を行っていただき、要精検者には心エコー検査とトレッドミル運動負荷心電図を行ない、万全の体制で毎回臨んでいただいております。ここ10年ほど前からは、整形外科の先生方の御努力により、心臓検診の他に、整形外科検診も併せて行なっていただいております。本年は、PT(理学療法士)さんも加わっていただき、トレーニング方法やストレッチ方法等の御指導も御世話になっております。具体的には、立入先生にご寄稿いただきました。

この様に、大会本番以外の所で、大勢の先生方にお力をお借りし、大会は成り立っております。

大会当日には、医療班として、14名の医師が参加しております。大会役員、協議役員、中継所役員、走路員、自主整理員を合わせると約1400人、そのほかに、警察の方200人、消防(救急の部)10名、ライオンズクラブ100名、計1800人の方々のお力で成り立っております。

選手の方は、50チーム×14名(補欠選手も含む)

700名です。約2.5倍の大人の方が応援している大会です。

何回大会からは覚えていませんが、行政区ごとに予選をすまして大会参加校が決定されます。親御さんの気持ちもわからないわけではありませんが、ここ数年でしょうか？ テーピングをした子供さんが

目につく様になりました。小学生の時代に無理をしてしまう様では、困ったものです。1月26日の京都新聞、取材ノートからにも話題が提供されている指導者の役割が大きく問われています。

これからの大文字駅伝が大きくなる為にもいい方向に向かって進んでほしいものである。

京都市小学校「大文字駅伝大会」事前検診で明らかになった運動器の傷害

－ 傷害を有する児童は全出場予定選手の32.5%にも －

京都府医師会学校保健委員会「運動器学校検診モデル事業」小委員会

アドバイザー 立入克敏

京都市内の小学校の学校対抗で行われる「大文字駅伝大会」には予選を勝ち抜いた50校が出場し、10区間16.495キロを6年生の男女5人ずつが走る。今年2月6日には第25回大会が行われた。「児童の体力向上および学校教育の充実を図る」を開催趣旨に、京都市教育委員会が京都国体の前年（1987年）から始めたのだが、回を重ねるごとに児童・保護者・指導者の過熱が目立ち、出場予定選手（補欠を含む、以下同じ）に運動器の傷害が増加している。

京都府医師会学校保健委員会の「運動器学校検診モデル事業」小委員会は、「運動器の10年」日本委員会が実施する“学校における運動器検診体制の整備・充実モデル事業”の趣旨に賛同して、初年（2005年）度から事業に参画しているが、その事業の一つとして2006年度から大文字駅伝大会の事前検診の中で運動器検診を実施している。運動器の傷害が増加していることから、従来は心臓検診を主とする内科検診だけであった事前検診に、京都市学校医会と京都整形外科医会の全面協力を得て、運動器検診を組み入れることになったのである。

今年度も12月25日および1月8日の両日、内科検診と同時に運動器検診を行った。運動器検診は、医師延べ14名、理学療法士延べ8名、看護師延べ8名で行った。

内科検診は出場予定選手全員700名を対象に行われたが、運動器検診はその中で運動器に傷害や不安を持ち検診を希望する児童を対象に実施した。方法は、全700名に事前アンケート調査を行い、運動器

の傷害が疑われる児童に検診を実施した。

結果、傷害を有する児童は、男子98名、女子130名、合計228名であった。実に、全出場予定選手の32.5%であった。傷害されていた部位は延べ251部位（23選手は2部位に訴えあり）で、最も多かった部位は足関節・足106例（42.2%）であった。続いて、膝関節81例（32.3%）、下腿35例（13.9%）、股関節23例（9.2%）、腰・その他6例（2.4%）であった。これらの数字は、過去4年のデータと大差がない。

今年度の運動器検診では、初めての試みとして、理学療法士を帯同してコンディショニング指導の充実を図った。さらに、足部検診のために独自開発した足底部解析装置（Foot Photo Analyzer）を導入した。いずれも、運動器傷害の治療と予防に役立つことが期待される。

一生懸命に努力する子どもたちを応援したい。希望を叶えてあげたい。保護者にも、指導者にも、われわれ医療者にも共通の願いである。しかし、われわれ大人には子どもたちの健全な発育発達を守る責務もある。将来のある子どもたちの身体を潰してしまわないように、少なくとも大人は過熱しないようにして、子供たちを正しく導いていかねばならない。

当委員会では、学校保健安全法に基づく定期健康診断に運動器検診を組み込むこと、児童・保護者・指導者に対するスポーツ医学に基づいた正しい知識の啓発が重要と考えている。

都大路の風たち

新道小学校医 橋 平 誠

2月6日、寒さの厳しい今年の冬には珍しい暖かい日曜日、第25回大文字駅伝に医務担当として初めて参加させて頂きました。

出動の要請を受け、校医を務める新道小学校が統合・閉校を迎える直前に出場することでもあり、是非ともお手伝いさせて頂かねばとは思ったものの、悪天候の中、寒さに震える出務を想像し、いささか気の重い事でした。やがて送られてきたパンフレットの青い表紙には力強く走る子供たちのイラストに「都大路の風になれ」と書き添えられていました。子供たちが風になるなら負けてなるかと覚悟を決めました。迎えた当日は拍子抜けするような暖かい冬晴れでした。開会式場の京都会館では練習に励む子供たちやご父兄の熱気、順次出発していく選手たちへのものすごい声援に圧倒されます。子供たちのバスに同乗して中継所へ。車中の子供たちの緊張に引き締まった顔の凛々しいこと。

大会は順調に進み、中継所には次々と子供たちが

走り込んで来ます。みんな力を出し切り、倒れ込む様に入ってきますが、幸い医務班の出番はありません。子供たちの間を歩き回って「よう頑張ったなあ」と声を掛けるだけでしたが、久しぶりに爽やかな気分にならせてもらいました。

普段の診療で、大文字駅伝に熱くなるお母さん方のなんと多いことかと不思議に思っておりましたが、私もやはり熱くなり、KBSの夜の2時間番組までしっかり見てしまいました。この調子では、来年、医務班としての出動がなくても、都大路のどこかで“風”たちの応援をしていそうな気がします。

これだけの大会を運営するには各方面のご苦労は大変なものと思います。今年は少し気分の悪くなった生徒があった程度で無事に終わったようで幸いでした。奥村先生はじめご出動の先生方、ご苦労様でした。おかげ様で子供たちとの楽しい時間を過ごさせて頂き、本当に有難うございました。

第30回 京都市小学生持久走記録会に参加して

常任理事 杉 本 英 造

大寒を過ぎた1月23日(日)鴨川の河川敷、出雲路橋・葵橋周回コース(1700m)にて持久走記録会が行われました。1)児童の運動欲求を満足させる 2)自己の記録に挑戦する機会を与える 3)他校の児童とのふれあいの機会を与える、趣旨で開催されており希望者は京都市立・国立・私立・民族学校に在籍する6年生の児童であれば、手上げ方式で参加できます。当日は、北山の峰々にうっすらと雪がかぶり、鴨川を吹きぬける風は冷たかったですが、日差しは暖かくマラソン日和でした。142校、2582名(男子:1455名・女子1127名)の児童が元気に河川

敷を走りました。今回のトップ記録は男子:5分30秒、女子:5分46秒でした。私と林先生が出務した救護室へは16名が訪れ、擦過症12名、打撲症1名、足捻挫1名、頭痛等の気分不良2名でした。擦過症の約半数がスタート時点で発生しました。約40名が1グループで、6~7分毎にスタートするのですが、河川敷のスタート地点が狭いため、4列になるため押されて転倒するケースが多かったです。転倒して負傷しても全員最後まで走り抜いたのは立派でした。子供たちから元気をいただいた一日でした。

京都府医師会指定学校医制度 単位取得研修会・講演会のお知らせ 校医・小児科医感染症講演会

開催日 平成23年3月19日(土) 16:30~18:30
会場 京都全日空ホテル 2F 平安の間(堀川御池) TEL (075) 231-1155
学術情報 『クラリシッドのトピックス』 16:30~17:00
開会挨拶 京都市学校医会 会長 奥村 正治 先生
講演 座長 長村医院 院長 長村 吉朗 先生
(仮)『成人百日咳における治療指針』 17:00~18:30
独立行政法人国立病院機構福岡病院 呼吸器科 部長 野上 祐子 先生

第8回 常任理事会

平成23年1月8日
於 れんらく船

出席者 奥村会長、林・竹内副会長、井本専務理事、
大久保・杉本各常任理事、佐野眼科学校医
会副会長、星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医
会理事、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 腎臓相談 12/14 (2名)
2. 色覚相談 12/14 (2名)
3. 大文字駅伝大会選手整形外科の検診
第1日 12/25, 第2日 1/8
4. 社団法人京都府歯科医師会「平成23年新年互礼
会」1/5 奥村出席
5. その他

<協議事項>

1. 校医・小児科医感染症講演会について 3/19
座長：長村
2. 仮決算について
3. 平成22年度日医学校保健講習会参加者について
2/19
4. アレルギー管理表について
5. 新任校医研修会担当について 3/24
於：こどもみらい館
担当：奥村、竹内、林、井本
6. 総括産業医の増員について
7. その他

<関連学会・各種協議>

1. 精神衛生研究会 1/13
2. 色覚相談 1/18, 1/25
3. 平成22年度京都市小学生持久走記録会
1/23 林、杉本出席
4. 腎臓相談 2/1
5. 京都府医師会「新春賀詞交歓会」2/5
6. 第9回常任理事会 2/5 13:30~
7. その他

第9回 常任理事会

平成23年2月5日
於 事務局

出席者 奥村会長、林・竹内副会長、井本専務理事、
東道・杉本各常任理事、佐野眼科学校医
会副会長、星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医
会理事、長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 精神衛生研究会 1/13 10名参加
2. 色覚相談 1/18, 1/25 各2名
3. 平成22年度京都市小学生持久走記録会 1/23
林、杉本出席
4. 腎臓相談 2/1 小学生男子2名
川勝、長村、井本出席
5. 第62回指定都市学校保健協議会協賛 5/22
6. 平成23年度統括産業医決定
早川、竹内、長村の3名に決定
7. その他

<協議事項>

1. 全理事会について 4/7 14:00~
2. 会員異動について
3. 仮決算について
4. 第25回京都市小学校大文字駅伝大会について 2/6
5. 新任校医研修会について 3/24 14:00
於：こどもみらい館
6. 総会開始時刻について 4/16 15:30より開始
7. その他

<関連学会・各種協議>

1. 京都府医師会「新春賀詞交歓会」2/5
奥村出席 於：リーガロイヤルホテル
2. 第25回京都市小学校大文字駅伝大会 2/6
3. 精神衛生研究会 2/10
4. 平成22年度日医学校保健講習会 2/19
奥村、長村出席
5. 東山支部会 2/20
6. 平成22年度第3回常務委員会及び第62回指定都
市学校保健協議会第4回実行委員会 2/22
7. 色覚相談 2/22
8. 第3回学校給食事業安全衛生委員会 2/24
竹内出席
9. 右京支部会 2/26
10. 第10回常任理事会 3/5 14:00~
11. その他